

造幣局職業体験プログラム【理系・3日間】の開催について

1. 目的

造幣局の業務説明や就業体験を通して、学生の学習意欲を喚起し、高い就業意欲を育成するとともに、造幣局の業務に対する理解をより深めてもらうこと。

2. 対象者

日本国籍を有し、大学又は大学院に在籍する工学・理学系の学生（機械、建築、化学、金属工学等を学んでいる方）で、国家公務員の仕事に関心のある方。

3. 実施日程

令和7年7月28日（月）～7月30日（水）の3日間

※希望日3日間のうち、ご都合の悪い日時がある方は人事課人事担当までご相談ください。

※スケジュールは以下の通り。

1日目		2日目		3日目	
午前	午後	午前	午後	午前	午後
・事前説明 ・業務説明 ・工場見学 （簡易版）	受け入れ課の裁量による				・座談会 ・報告会

4. 定員

3名程度

5. 場所

造幣局本局（大阪市北区天満1-1-79）

6. 内容

- ・造幣局の業務説明
- ・工場見学
- ・業務体験
- ・職員との座談会

7. 受け入れ課及び実施内容

造幣局本局において製造部門を抱える3部所について、各課室の業務内容と併せて紹介します。

貨幣部：通常貨幣及び記念貨幣の製造			
受け入れ対象課		業務内容	職業体験プログラム実施内容例
1	管理環境課	貨幣製造のための作業スケジュールの作成や貨幣の納品に係る事務、また省エネルギーや産業廃棄物処理等環境に関する業務を行っています。	各課との作業計画等の概要説明、省エネルギーや産業廃棄物処理など環境に関する業務
2	生産管理課	製造工程及び品質の管理、流通貨幣の品質調査や貨幣・勲章の製造に関するコスト削減及び効率化等を行っています。	貨幣製造に係る概略説明、品質確認業務、現場調査への同行
3	貨幣課	工場では通常貨幣の製造を行っており、事務所では作業状況の確認や機械設備の修理手配、貨幣等の在庫管理等を行っています。	貨幣材料及び一般資材の搬出入・納品確認、製造設備の稼働状況確認、一般事務補助
4	貨幣製錬課	工場では記念貨幣の製造等を行っており、事務所では作業に必要な物品の購入や作業報告書の作成等を行っています。	記念貨幣製造工程（銀電解精製等）の見学、一般事務補助
5	貨幣極印課	工場では貨幣や年銘版を製造するための極印（貨幣の模様を転写するための金型）を製造しており、事務所では作業の進捗管理や資材の調達などを行っています。	貨幣極印製造工程の見学、一般事務補助
6	施設課	設計部門では建築・機械・電気の専門分野に分かれ、庁舎工場の建物及び設備における改修工事、設備導入の計画立案、現地調査業務、仕様書図面作成・工事監督業務等を行っています。	機械設備の保守点検への同行、工事案件の監督業務に同行、模擬設計

事業部：貨幣セット並びに勲章及び金属工芸品の製造・販売			
受け入れ対象課		業務内容	職業体験プログラム実施内容例
7	事業企画課	貨幣セット、金属工芸品等の販売に関する企画立案のほか、これら製品の販売価格の策定・販売数量の決定・製造販売スケジュールの策定等、関係部署との連絡調整を行っています。	作業計画策定等に関する課室係担当者との調整及び打合せに同行
8	装金課	工場では勲章等や金属工芸品の製造を行っており、事務所ではその製品にかかる工程の進捗や在庫管理のほか、製品の検品作業や資材調達等を行っています。	場外加工手続き、一般事務補助
9	装金極印課	工場では極印のもとになる種印の製造等を行っており、事務所では極印用の鋼材の調達や在庫管理、作業の進捗管理などを行っています。	鋼の焼入れの見学、一般事務補助

研究所：貨幣の真偽鑑定、偽造防止等に係る研究等			
受け入れ対象課		業務内容	職業体験プログラム実施内容例
10	試験鑑定課	偽造が疑われる貨幣の鑑定、貨幣や勲章等の製品材料の管理分析や工場で発生する排水の分析、民間業者等からの依頼を受けての貴金属等の品位分析を行っています。	分析に係る事務作業、分析業務
11	研究開発課	造幣局の事業に関する技術の研究を行っています。貨幣の新しい偽造防止技術の開発や極印の表面処理方法、プルーフ貨幣等の防錆に関する研究等に取り組んでいます。	実作業を含む研究テーマの体験・見学

☆モデルコース

コース①：貨幣がどのように作られているか、製造現場を見たい場合（製造管理中心）

候補①：管理環境課、生産管理課（総括部門）で、製造計画の進捗管理を学ぶ

候補②：貨幣課、貨幣製錬課、装金極印課、貨幣極印課（現場部門）で、実際の製造現場を学ぶ

候補③：施設課で、機械設備導入に関する打ち合わせに同行する

コース②：貨幣に使用されている偽造防止技術について学びたい場合（研究中心）

候補①：生産管理課で、最新の偽造防止技術がどのように活かされているか学ぶ

コース③：勲章の製造工程について学びたい場合

候補①：事業企画課で、製造計画の進捗管理を学ぶ

候補②：装金課で、実際の製造現場を学ぶ

コース④：建築学、都市工学等の専門性を活かしたい場合

候補①：施設課で、工事の立会いに同行する

候補②：施設課で、各課の機械設備導入に関する打ち合わせに同行する

コース⑤：金属工学、精錬化学に関する専門性を活かしたい場合

候補①：装金極印課や貨幣極印課で、鋼の焼入を見る

候補②：貨幣製錬課（製錬係）で、電解精製や鋳造を見る

候補③：研究開発課で、貨幣製造に関する最新の研究に触れる

候補④：試験鑑定課で、貨幣製造の管理分析に触れる

8. 申込方法

申込書（Excel ファイル）に必要事項を記入の上、下記アドレスまでメールでご応募ください。

メール宛先：jinji-saiyo@mint.go.jp

※期限 令和7年7月4日（金）17時（受信有効）

※申込書のファイル名は「【氏名フルネーム】造幣局職業体験プログラム申込書.xlsx」としてください。

※記入いただいた情報は、今後当局での採用活動において、業務説明会情報のお知らせをするなどの形で使用することがございます。

9. 参加学生の決定

職業体験プログラム開催日の約2週間前までに、記入いただいた連絡先に参加可否の結果をお知らせいたします。

応募者が多数となった場合には、オンラインによる面接等を実施する場合があります。選考理由についてはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

10. 注意事項

- ・参加者には、開始前に服務規律の遵守等にかかる誓約をしていただきます。
- ・職業体験プログラムの参加経費（交通費、滞在費、食事代、保険料等）については各自で負担いただきます。
- ・受入に際しては、「学生教育研究災害傷害保険」及び「インターンシップ等賠償責任保険」又はこれらに類する傷害保険及び賠償責任保険の両方に加入していることを条件とします。

【問合せ先】

造幣局人事課（人事担当）

Tel：06-6351-5158

Mail：jinji-saiyo@mint.go.jp